

# みんなで考えるくらし教室

## 7月は商法のいろいろ～

より豊かなかきしい消費生活をおくるには、広い知識が必要です。一家の台所をあずかる主婦が二重価格有害食品のことなど知ってれば、家族の健康管理や商品を選ぶ時にもおおいに役立ちます。そこで広い知識を身につけていただくため、市商工課消費者係では「みんなで考えるくらし教室」を開いています。

第1回目のくらし教室を、5月15日に、これからの食生活をテーマに行なったところ、80人の主婦が参加し熱心に勉強しました。

なお、これからのくらし教室は、7月から1月までに4回開きます。募集はお知らせ広報（暮らしのたより）でその都度行いますから、申込んでください。

### くらし教室の予定

7月 商法のいろいろ（月賦、通信訪問販売など）

9月 ねだんを考える（二重価格や

流通のしくみ）

11月 広告に強くなる（広告のしくみと消費者心理）

1月 商品の知識（商品規格と品質）



【80人の主婦が参加した第1回くらし教室】

節約は家庭の中から  
職場から

### 生活協同組合をこぞ存知ですか

## 手をつなぐ消費者

より良い品をより安くという消費者（組合員）のねがいでつくられたのが生活協同組合です。一般に「生協」と呼ばれています。生協が日本ではじめてできたのは約80年前現在では全国に1200をこす生協があります。市内にも昨年設立され、1900人の会員が加入しています。

一般の企業が特定の株主の出資によって経営されているのに対し、生協は組合員ひとりひとりが資金をもちよってこれをもとに運営されます。事業によって生まれる利益が目的ではありませんから、その分価格も安くなり、よい商品が組合員に届けられます。

生協に加入するにはとなり近所で7人から10人のグループをつくり、運営資金となる出資金をはらいこみます。こうして組合員になると、共同購入で、生協だけが扱っているコープ商品や冷凍食品などが購入できます。

なお、生協についてのくわしいことは、富士生活協同組合（伝法・電51-9459）へお問合わせください。

